

議 件

1)スズキ労連

規約改定の件 (提案者：山本副会長) e投票にて採決 **賛成152票で可決**



1)スズキ労連 規約改定の件
山本副会長

報告承認事項

1)第52期活動経過報告 (提案者：金子事務局長)

拍手で承認

2)第52期会計決算報告 (提案者：佐々木副事務局長)

拍手で承認

3)第52期会計監査報告 (提案者：梶谷会計監査人)

拍手で承認



1)第52期活動経過報告
金子 事務局長



2)第52期会計決算報告
佐々木 副事務局長



3)第52期会計監査報告
梶谷 会計監査人

議 件

2)スズキ労連 規程改定の件 (提案者：山本副会長) 挙手にて採決 **賛成多数で可決**

3)第53期予算(案)の件 (提案者：佐々木副事務局長) 挙手にて採決 **賛成多数で可決**

4)顧問委嘱の件 (提案者：渡部副会長) **拍手で承認**

○スズキ労連 政治顧問

田口 章 静岡県議会議員

岩田 邦泰 浜松市議会議員

○スズキ労連 特別顧問

古川 正明 労働金庫連合会 副理事長

5)【特別決議】第27回参議院議員選挙 必勝決議(案)



4)顧問委嘱の件
渡部 副会長



5)第27回参議院議員選挙必勝決議(案)
野呂 副会長



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!
0120-500-073
*月～金 9:00～18:00
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市中央区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-489-5523
e-mail: jimbo@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・

スズキ労連機関紙

共通パスワード… saw2007



【編集後記】

スズキ労連に来てから早いもので1年が経ちました。職場にも慣れこれから自分の色を出して行ければと思います。スズキ労連第53回定期大会が開催され、第53期の活動がスタートします。今期も充実した活動となるよう頑張っていると思います。 じんじん

第524号



2024年
労連定期大会
特集号

スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市中央区増楽町20
電話(053)447-3079 FAX.053-489-5523
発行人 武藤憲司
編集人 神保昌世

全ての議案が可決! 第53回定期大会



第52・53期大会スローガン

一致団結! みんなでチャレンジ明るい未来



左：池田 早織 (スズキ労組磐田支部)
右：大橋 百希 (スニック労組)

9月15日(日)にSUN会館3F大会議室にてスズキ労連第53回定期大会を開催し、すべての議案・報告が承認されました。

大会は、武藤会長の執行部代表挨拶の後、報告承認事項・議件を提案し、賛成多数で可決しました。参加者の皆様のご協力により滞りなく開催することができました。決定した議案に基づき1年間の活動を推進してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【各種委員】 ☆印は各委員長(敬称略)

◎資格審査委員：4名

☆佐藤 統 <スズキ労連中執>

末松 辰憲 <岐阜スズキ労組>

竹中 孝子 <スズキ販売労組>

榊原 正人 <スズキ納整労組>

◎議事運営委員：4名

☆飯尾 能将 <スズキ労連中執>

今井 雄太 <スズキ労組本部>

松本 雄次 <平岡ボデー労組>

西井 真友子 <スズキファイナンス労組>

◎議長団：2名

池田 早織 <スズキ労組磐田支部>

大橋 百希 <スニック労組>

◎書記：2名

福田 静枝 <小楠金属・熱処理労組>

坂澤 真由姫 <スズキ労連>

【参加者】

代議員 144名 (男性99名、女性45名)

執行部 29名 会計監査2名 書記2名

【報告承認事項】

1)第52期活動経過報告

2)第52会計決算報告

3)第52会計監査報告

【議 件】

1)規約改定の件

2)規程改定の件

3)53期予算(案)の件

4)顧問委嘱の件

5)特別決議

第27回参議院議員選挙必勝決議(案)

スズキ労連 武藤会長あいさつ（要旨）



スズキ労連 武藤会長

【はじめに】

日頃よりスズキ労連の活動に対しご理解とご協力さらには地域での積極的な活動参加を頂いておりますことに執行部を代表して感謝申し上げます。

本日の大会は前期1年間の活動を検証するとともに、第53期の具体的な取り組みのスタートを切る大会です。心ひとつに実りある大会となりますようよろしくお願いいたします。

【スズキグループを取り巻く環境】

さて、スズキグループを取り巻く環境につきまして、改めてこの場で共有させていただきたいと思えます。

スズキが8月6日に発表した第1四半期決算では、売上収益は1兆4,576億円、前年同期に比べ2,533億円の増加。営業利益においても1,576億円と前年同期と比べ596億円の増加。そして純利益は1,142億円と会計基準が日本基準だった2018年このときが859億円でしたがこれを上回り、6年ぶりに最高益を更新しました。

これらは為替の影響や売り上げ構成変化等の改善により増収増益となっています。

通期の予想は変更しておりませんが、市場の見通しとしてインド四輪車の需要が不透明であり、しっかり需要動向を見極めていく必要があります。

また、足元では為替や株の乱高下ということもあり、警戒感も継続している状況だと思えます。一方、日本では引き続き原材料、部品価格の上昇の影響が出ており、これは今後も減益方向に働くと思えます。労働組合としても労務費を含めた適正取引の価格転嫁については、今後も適切な対応を求めていきたいと思えます。

【2024春闘】

2024春闘は、昨年同様継続している物価上昇や実質賃金の低下から組合員の生活を守るために、賃金引き上げの流れを一過性のものとすることなく、継続的な賃金引き上げを実現すべく取り組みを進めました。そして、スズキ労組を含む多くのメーカー労組の回答が、回答指定日を前に回答が示されました。

スズキ労組の交渉において、回答指定日前に回答

方針を示したこの会社の意図は、目まぐるしく変化する環境・社会の中で、会社の置かれている状況を再認識し、今日、いま、この時から意識を変え、「自分に何ができるか」「何をしていくか」を考え、行動するスピードが必要との危機感を労使で共有し、すぐに実行に移すための早期回答でした。

回答が出たからよかった、万歳という話ではなく回答のその意味をしっかりとみんなが理解し、噛み締める必要がありました。今後も管理職を含めた全員がスズキグループの会社方針である社是と3つの行動理念を実践し、それぞれの知識、スキル、ノウハウ、経験値をあげ、全員が稼ぐ力を身につけ利益を確保していかなければ会社の経営が悪化するかもしれないという緊張感・危機感を常に持ち続けていく必要があると思えます。

9月5日には自動車総連の大会がありました。中間期の大会ではありますが異例の運動方針の補強案が示され可決されております。中でも重点活動項目として示された「産業の魅力向上に向けた、休日増の取り組みについて」ということで将来的には他産別と同等以上を目標に、現在の休日数から段階的に5日増を目指す。という内容です。来春に向けた方針検討は、まだまだこれからですが、この取り組みは一朝一夕にはいかない話であり、各組合の実情も考慮の上、検討をすすめていかなければなりません。

【政治への対応】

私たち労働組合には「一人ひとりの力は小さく立場も弱いけれど、団結して塊を作ることで、経営側と対等を図る」これが重要です。それは団体交渉であったり、労使会議だったりするわけですが、議会の場合においても同じように、同じ考え方を持っている人の塊を作る議員の仲間づくりが非常に重要となります。選挙で私たちが代表を議会に送り出すということは、私たち企業で働く者日本で暮らす国民としての課題を解決するための「一つの手段」であり、当選することが目的ではありません。目的は、私たちが将来にわたって安全・安心そして豊かに暮らしていくことができる社会づくりを政治の場で形成していく事です。そして、来年7月には参議院議員選挙において、「いそぎ哲史」参議院議員の3期目の戦いが行われます。私たちの勤める自動車産業にとっては、自動車関係諸税やカーボンニュートラル政策は将来を左右する大変重要な政策課題であり、私たちの代表を国政の場に送り出し、自動車産

業に働くものの声を政治に反映していくことが不可欠です。引き続き安心できる社会づくりに向けての取り組みを進めてまいりますので、皆さまの支援活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

コロナ禍の国政選挙・統一地方選挙は労働組合としての政治活動が制約される部分も多く、十分なコミュニケーションが取れなかったという課題が残りました。webの活用やSNSを使った情報発信などは、政治情勢の変化や組合員の働き方の変化に対応した効果的な組織強化活動の一つではありますが、連合が行った政治アンケートを見ますと組合役員からの声かけにより政党名を書く事ができたり、個人

名を書く事ができたというような回答結果も見えています。今はまだSNSだけで選挙活動が完結しているとは言えない状況であると認識しています。特に加盟組合執行部および、職場で組合活動を支援している職場委員、支部委員など最先端役員の皆さんには引き続きのご理解ご協力よろしくお願いいたします。

本日、ご参加の皆さんの労働組合活動へのご理解と、ご協力を重ねてお願い申し上げます。執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。ともに頑張りましょう。ありがとうございました。

ご来賓挨拶

自動車総連：金子会長



- ・自動車総連の運動を確実に進めていくにあたって「根本を知る」ということを意識してほしい。日常業務の中で、目の前の作業をこなすことに意識が向くあまり、何のためにその仕事をしているのか、本来の目的を見失ってしまったことはないか。
- ・自動車総連の運動に関しても、方針として掲げた様々な取り組み項目になぜ取り組まなければならないのか、このことについて自動車総連の根本に立ち返ってみたいと思う。
- ・来年7月にはいそぎ哲史3度目の取り組みになる参議院議員選挙がある。自動車総連78万4千人が一丸となって取り組むことによってトップ当選を果たしていきたい。

いそぎ哲史 参議院議員



- ・仲間の皆様の支えもあり、この間活動ができています。今後も引き続き皆様の現場の方に足を運び、話を聞かせていただく活動にも力を入れていきたい。
- ・実際に現場に行き皆さんの話を伺うと、まだまだ自分も知らない現場の苦労や、問題課題があるなということを実感している。
- ・政治と労働組合の活動は、政治の現場に議員を送り出すことが目的ではなく、問題課題の解決をすることがその目的だと思う。私もこの11年間、議員としてそういう思いで活動してきた。
- ・引き続き政治を動かすための共同作業に、参画いただき、協力をお願いしたい。

はまぐち誠 参議院議員



- ・今党内議論の中で、大きな柱として訴えていきたい項目に「手取りを増やす。」を我々の公約として掲げていきたいと思っている。
- ・賃上げの流れを来年以降も定着させていくことだが、その一方で税金や社会保険料が同時に上がり、手取りが増える実感が少ないところを変えていかないといけない。
- ・そのためには所得税を始めとする減税、社会保険料の現役世代の負担軽減、生活コストを下げていくなど、政治でなければできない項目をしっかり取り組んでいきたい。

榛葉賀津也 参議院議員



- ・一人ひとりの国民の暮らしを良くするため問題解決を目標に結党した国民民主党の最も重要な政策の柱の一つが自動車関連諸税の簡素化である。税金を使う側ではなく働いて税金を払っている人が納得する税制政治をやっていくためには、我が党の柱である玉木代表、そして自動車産業を牽引するいそぎ、はまぐち両参議院議員が必要。この二人を国政に送っていただいている皆さんに、党の幹事長として心から感謝申し上げます。
- ・来年以降も賃金を上げることを組合と政治家とともに協力してやるのが大事。